

# 未来構想キャラバン つくば市長との意見交換会

研究所・  
機関対象

発行日：令和元年8月

編集・発行：つくば市 政策イノベーション部 企画経営課

## ◆研究所・機関の皆さんと市長がまちづくりを語るキャラバンが開催されました！

つくば市では、今後10年間の総合的な指針である未来構想の策定にあたり、市長とつくば市在勤の研究所・機関にお勤めの皆さんが、まちづくりについて意見交換をするキャラバンを開催しました。

筑波研究学園都市を支える皆さんからの貴重な意見をご紹介します。

日時：令和元年8月6日（火）18:00～19:30

会議場所：B i V i つくば 2階交流サロン

参加者：11名（事務局含まず）



## ◆主な意見交換内容

### 1. 2030年のつくば市への期待について



研究所・機関の皆さんから2030年のつくば市にどのようなことを期待しているか伺いました。とくに情報を活用した技術発展について、ご意見を沢山いただきました。

#### (1) つくば市の雇用について

- 今のつくば市にいる子供たちが、大人になった時につくば市内に勤めることができるよう、雇用を増やせるまちになってほしい。
- 研究者同士のつながりを持てるよう、MBA的人材をつくば市で育成し、さらなる技術発展を目指したい。



#### (2) つくば市のモビリティについて

- モビリティの発展によって、子供から高齢者まで簡単に移動ができるようになってほしい。
- 今よりも公共交通の運賃を安くし、本数を増やしてほしい。
- マイカー依存をなくし、個人個人が新しいモビリティによって移動を楽しめるまちになってほしい。

#### (3) 情報を活用した技術の発展について

- 技術的なリスクのとらえ方によって、将来の技術発展が見込めると思う。
- つくば市は情報リテラシー（※情報を活用する能力）をお持ちの方が多いため、情報を扱うリスクをある程度受け入れてもらうことができると思う。
- つくば市で生活するうえで、情報の扱いについて理解してもらえそうな環境にしていきたい。



### ◆お問合せ◆つくば市役所 政策イノベーション部 企画経営課

〒305-8555 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1 TEL 029-883-1111/FAX 029-828-4708

\*未来構想に関する質問・意見は、政策イノベーション部企画経営課のメールアドレス（pln010★city.tsukuba.lg.jp）まで（なお、メールアドレスの★は、@記号に置き換えて下さい）

## 2. フリートーク

つくば市の研究所・機関の皆さんから、今後のつくば市の取り組みについてご意見をいただきました。また、いただいた意見に対し、市長から今後のつくばのまちづくりについてお話しいたしました。

### 参加者からの意見

- 研究者とそれ以外の産業に従事している人との意見交換を実施してみたい。
- まちなかに物理的な核がなく、同業であっても顔が合わないような状況であるため、日常的に交流が生まれるまちになれば良いと思う。
- つくば市が科学技術によってシリコンバレーのようなまちになるために、起業しやすい仕組みづくりが必要になってくると思う。
- 現在つくば市は、車社会に合わせた街区のスケールが大きいまちであるが、ヒューマンスケールを意識したまちづくりが今後課題だと思う。
- 研究機関が集まっているメリットを活かした、市民参加型の研究開発を考えていきたい。
- 中心市街地に若い世代や外国の方が住めるような、盛り上がるような仕組みを作っていくとよいと思う。

### 市長からの回答・意見（一部）

- 産業の垣根を越えた自由な意見交換を実施したいと考えている。
- ベンチャー企業を応援し、社会のビジネスにつながっていきけるような拠点を作っていきたいと考えている。
- ベンチャー企業に対し融資を促す仕組みや、CEO人材の育成ができる、世界のスタートアップ拠点を積極的に検討したいと思う。

## 3. 振り返りシートのご意見

最後に、キャラバンに参加された皆さんに振り返りシートをご記入いただきました。「多様な意見が聞けた」「市長と話せてよかった」などのキャラバンの開催に対する前向きな感想とともに、今後のつくば市で取り組んでほしい事柄についてご意見をいただくことができました。

### ○：よかったと思うこと

- 多様な意見が聞けた。
- いろいろな課題を市長に提供して頂けて刺激になった。
- 市長と直接話すことができた。
- 五十嵐市長の強い思いというのがよく理解できた。
- 皆さん話がわかりやすくホットだった。楽しかった。
- 市長や他の人が考えていることを色々聞き、自分でも色々考える機会となりよかった。

### △：よくなかったと思うこと

- 時間がもう少しあると良いように思った。
- 参加者全員が男性というのも気になった。
- 集まる対象が絞られていたため、研究者の考え方を聞く割合が多かった。
- もっと具体的に解決案、具体案を詰めていく。
- ターゲットが不明確だった。

### □：十分に話せなかったこと

- 市の機能自体も実験場にするくらい、新しい試みをオープンに実施し発信してほしい。
- 研究成果についてつくば市を核に展開できる方策を議論できるとよかった。
- どうやってつくばの宝を活かして世界に名だたる福祉介護のまちにしていけることができるか、その具体的な取り組み。



### ☆：自由意見

- こういう場は継続的に人を入れ替えながら行えるといいと思った。人数もちょうどいいと思った。
- 公表された計画のその後が分からないことが多いので、立ち上がらなかった案件についても情報公開いただけた方が信頼関係を構築できるのではないかなと思う。
- つくば駅付近に研究所のリエゾン担当が毎日集合できる場所をぜひ考えて頂けるとありがたい。（外から企業や投資家がそこにくれば話を聞けるというの大きなメリットではないかなと思う。）
- クールで明晰な頭脳をホットなマインド・情熱をまちにいる人が持ち、世界に示していけるようなまちになるといいなと思った。等